

水族館変奏曲

アクアリウムパリエーション

作 : こむろこうじ
演出 : 佐々木 道子



とある町の浜辺にある水族館。優しい職員のもと、生き物たちが元気に暮らしていました。ところが ある日、津波に襲われ…

水族館の再建に向け、個性豊かな支援者や行政とともに奔走する職員たち。果たして、みんなが幸せな気持ちを持てるような形で水族館を再建できるのでしょうか？



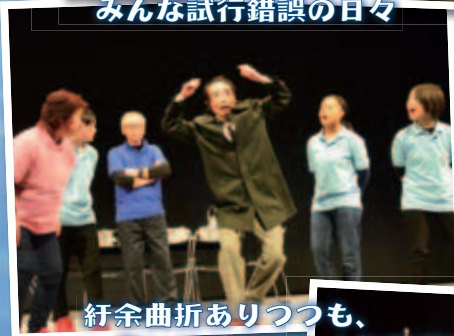
平和な水族館を
突如襲う地震と津波



中には力尽き、
息絶える生き物も…



どうしたらよいか、
みんな試行錯誤の日々



紆余曲折ありつつも、
思いはひとつ！水族館再建へ



劇作

こむろ こうじさん

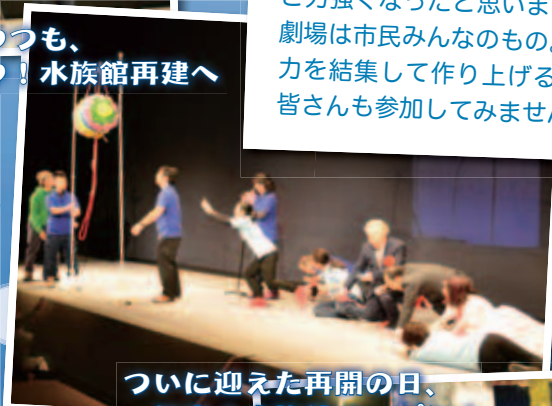
今回の公演では、演出や舞台監督などの役割を若手の参加者たちが務めるなど、チームとしてこれまで以上に熟成され、一段と力強くなったと思います。市民劇場は市民みんなのもの。全員の力を結集して作り上げる舞台に、皆さんも参加してみませんか？



演出

佐々木 道子さん

ついに迎えた再開の日、
無事？水族館オープン！



何はともあれ…
めでたしめでたし



エビ役で
初出演！

ほりま あいな
播磨 愛和さん
(夏井小4年)

去年の公演を見て、私もやってみたい！と思って、チャレンジしました。たくさんのお客さんがいて緊張したけど、練習通り演技できました。これからもずっと参加したいです！



演出に
初挑戦！

佐々木 道子さん

見た人が「頑張ろう」と思えるような舞台を目指して、舞台監督2人と一緒に取り組んできました。公演では、一人一人が魅力を発揮して、気持ちのこもった演技ができたと思います。これも、演じるみんなが、しっかりと脚本を読み、伝えたいことを明確にしていたからだと思います。誰かひとりが主役ではなく、みんなで作り上げた舞台にできたと思います。

お芝居は、舞台を作り上げていく「過程」も魅力があります。また、様々な年代の参加者と交流ができるのも貴重な経験。お互いを認め合える仲間と、みんなで作り上げる楽しさを、多くの人に味わってほしいです。

